

パンが毎日 1 万個以上捨てられています。



パン屋さんは 4% ほどのパンが売れ残ると言われています。

**全国には 1 万件以上のパン屋さんがあり、
毎日 1 万個以上パンが捨てられている計算です。**

パンが売れ残ったらどうしていますか。 (世田谷パン祭り出店者のアンケート結果)

- 1 翌日安くして販売 (5 店)
- 2 自分 (スタッフ) で消費 (4 店)
- 2 別の商品に作り替え (4 店)
- 4 その他 (3 店)
- 5 廃棄 (2 店)

・
・

廃棄するパンの活用事例

現在廃棄するパンの活用事例としては養豚場の飼料にする方法があります。
パン屋さんはお金を支払って飼料として回収してもらっています。



Save The Bread Project

廃棄をするパンを寄付金に変換活用する活動を行っています。

売れ残ったパン

↓

企業が買い取り

↓

従業員に無償配布

↓

従業員は任意に寄付金

↓

寄付金は恵まれない子供地たちへの寄付金へ

参加実績企業：

- 都内有力 IT 企業
- 都内サービス企業
- 都内有名パン店

三方よし仕組み

パン屋さん：

廃棄を少しでもパンをお金に変えるところが良い。

店頭での安売りでないため市場を壊さず、ブランドイメージを損なわなくて良い

企業：

企業にも求められる SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みとして良い。

従業員の満足度を高めるのに良い。（寄付する行為はモラルを向上させます）

従業員：

美味しいパンが食べられるのが良い 社会貢献が手軽にできるのが良い。

参加パン屋さん & 企業募集！

Save The Bread Project（セーブ・ザ・ブレッド・プロジェクト）では、
世田谷パン祭り以外の通常の営業でもパンを救いたいと考えています。

このプロジェクトに参加していただけるパン屋さんと企業を募集しています。

ぜひ、ご参加をお願いします。

ご登録はこちらから

<https://savethebread.jp/>



パンを救おう！